



問 38. 過去 1 年間にその“決まった相手”とオーラルセックスをしましたか。

◎この場合、“オーラルセックス”とは男性のペニスを口や舌で刺激する行為を意味します。

1  はい

2  いいえ

付問: その時、あなた or 相手はコンドームを使いましたか。

- 1  一度も使わなかった。  
2  全体の半分以上は使わなかった。  
3  全体の約半分は使用した。  
4  毎回ではないが、半分以上は使用した。  
5  毎回使用した。

問 39. 過去 1 年間にその“決まった相手”と肛門性交をしましたか。

◎この場合、“肛門性交”とは男性のペニスを女性あるいは男性の肛門に挿入して行う性行為を意味します。

1  はい

2  いいえ

付問: その時、あなた or 相手はコンドームを使いましたか。

- 1  一度も使わなかった。  
2  全体の半分以上は使わなかった。  
3  全体の約半分は使用した。  
4  毎回ではないが、半分以上は使用した。  
5  毎回使用した。

問 40. 過去 1 年間に、その“決まった相手”とセックスをしたのはどこでしたか。あてはまる場所すべてに○をつけて下さい。

- 1  あなた (あるいは相手) のアパート (マンション)、下宿、家  
2  ラブホテル  
3  一般のホテル  
4  車の中  
5  大学構内  
6  カラオケボックス  
7  屋外  
8  その他 ( )

問 41. 過去 1 年間に、その“決まった相手”には、あなた以外にもセックスの相手がいたと思いませんか。(○はひとつ)

- 1  いなかったと思う。  
2  いたと思う。  
3  わからない。



■次に、“その場限りの相手”とのセックスについてお聞きします。

◎この場合、“その場限りの相手”とは、定期的なセックスの相手以外のその場限りのセックスの相手を意味し、友人、顔見知りの人、偶然知り合った人、お金を払って(もらって)セックスした人などを含みます。

問 42. 過去 1 年間に、“その場限りの相手”とセックスをしたことがありますか。ある場合、相手は何人でしたか。

1  ある ( ) 人  
 2  ない → 15ページの♡に進む

問 43. 過去 1 年間にセックスをした“その場限りの相手”とはどのようにして知り合った人でしたか。相手が複数の場合は、あてはまるものすべてに○をつけて下さい。

- 1  学校で知り合った人 (同級生、先輩、後輩、教職員など)
- 2  所属するサークル、習い事などで知り合った人
- 3  アルバイト先で知り合った人
- 4  近所の人
- 5  家族、親類、友人の紹介で知り合った人
- 6  以前の知り合い (幼なじみなど)
- 7  偶然知り合った人
- 8  お金を払ってセックスした人
- 9  お金をもらってセックスした人
- 10  その他 ( )

付問:それはどういう人でしたか。

(○はいくつでも)

- 1  ソープランドの人
- 2  ファッションマッサージの人
- 3  街娼
- 4  ピンクサロンの人
- 5  テレクラで知り合った人
- 6  伝言ダイヤルで知り合った人
- 7  “援助交際”の相手
- 8  その他 ( )

付問:どこで(何で)知り合いましたか。

(○はいくつでも)

- 1  旅先
- 2  飲み屋
- 3  何かの催し
- 4  ナンパ
- 5  テレクラ
- 6  伝言ダイヤル
- 7  ゲームセンター、ディスコ、パチンコ、カラオケなど
- 8  その他 ( )

問 44. 過去 1 年間にセックスをした“その場限りの相手”の年齢は何歳でしたか。相手が複数の場合は、あてはまるものすべてに○をつけて下さい。

- 1  自分よりかなり年下
- 2  自分より少し年下
- 3  自分と同じくらい
- 4  自分より少し年上
- 5  自分よりかなり年上
- 6  わからない

問 45. 過去 1 年間にセックスをした“その場限りの相手”の性別は。

- 1  男性
- 2  女性
- 3  男性も女性もいた

問 46. 過去 1 年間に、“その場限りの相手”と陰性交をしましたか。

◎この場合、“陰性交”とは男性のペニスを女性の膣に挿入して行う性行為を意味します。

1  はい

2  いいえ

付問: その時、あなた or 相手はコンドームを使用しましたか。

- 1  一度も使わなかった。
- 2  全体の半分以上は使わなかった。
- 3  全体の約半分は使用した。
- 4  毎回ではないが、半分以上は使用した。
- 5  毎回使用した。

問 47. 過去 1 年間に“その場限りの相手”とオーラルセックスをしましたか。

◎この場合、“オーラルセックス”とは男性のペニスを口や舌で刺激する行為を意味します。

1  はい

2  いいえ

付問: その時、あなた or 相手はコンドームを使用しましたか。

- 1  一度も使わなかった。
- 2  全体の半分以上は使わなかった。
- 3  全体の約半分は使用した。
- 4  毎回ではないが、半分以上は使用した。
- 5  毎回使用した。

問 48. 過去 1 年間に“その場限りの相手”と肛門性交をしましたか。

◎この場合、“肛門性交”とは男性のペニスを女性あるいは男性の肛門に挿入して行う性行為を意味します。

1  はい

2  いいえ

付問: その時、あなた or 相手はコンドームを使用しましたか。

- 1  一度も使わなかった。  
2  全体の半分以上は使わなかった。  
3  全体の約半分は使用した。  
4  毎回ではないが、半分以上は使用した。  
5  毎回使用した。

問 49. “その場限りの相手”との過去 1 年間のセックスの頻度はどれくらいですか。

- 1  年 1-2 回以下  
2  年 3-4 回  
3  2 ヶ月に 1 回程度  
4  月 1 回程度  
5  月 2-3 回  
6  週 1 回程度  
7  週 2-3 回  
8  週 4 回  
9  週 5 回以上

問 50. 過去 1 年間に、“その場限りの相手”とセックスをしたのはどこでしたか。あてはまる場所すべてに○をつけて下さい。

- 1  あなた (あるいは相手) のアパート (マンション)、下宿、家  
2  ラブホテル  
3  一般のホテル  
4  車の中  
5  大学構内  
6  カラオケボックス  
7  性風俗施設  
8  屋外  
9  その他 ( )



■次に、一番最近のセックスについてお聞きします。

問 51. 一番最近のセックスの相手は、誰でしたか。

1  “決まった相手”

2  “その場限りの相手”

付問: どのような人でしたか。  
(○はひとつ)

1  配偶者 (夫、妻)  
2  婚約者  
3  恋人  
4  友人  
5  それ以外 ( )

付問: どのような人でしたか。  
(○はひとつ)

1  友人  
2  顔見知りの人  
3  偶然知り合った人  
(旅先、飲み屋、何かの集まりなどで)  
4  お金をはらってセックスした人  
5  お金をもらってセックスした人  
6  それ以外 ( )

問 52. 一番最近セックスをしたのはどこでしたか。(○はひとつ)

- 1  あなた (あるいは相手) のアパート (マンション)、下宿、家  
2  ラブホテル  
3  一般のホテル  
4  車の中  
5  大学構内  
6  カラオケボックス  
7  性風俗施設  
8  屋外  
9  その他 ( )

問 53. 一番最近のセックスの時、以下の性行為を行いましたか。

ただし、この調査では性行為を、以下のように定義します。

【膣性交】: 男性のペニスを女性の膣に挿入する性行為

【オーラルセックス】: 男性のペニスを口や舌で刺激する性行為に限定

【肛門性交】: 男性のペニスを女性あるいは男性の肛門に挿入する性行為

	はい	いいえ
1. 膣性交をしましたか.....	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
その時コンドームを使用しましたか.....	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. オーラルセックスしましたか.....	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
その時コンドームを使用しましたか.....	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 肛門性交をしましたか.....	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
その時コンドームを使用しましたか.....	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問 54. 一番最近のセックスの時、あなたまたは相手はコンドームを使用しましたか。

1  はい

2  いいえ

付問 1. その時、コンドームはどこで手に入れましたか。(〇はいくつでも)

- 1  薬局
- 2  コンビニ
- 3  自動販売機
- 4  相手が持っていた
- 5  ホテルにおいてあった
- 6  その他 ( )

付問 2. その時のコンドームの使用目的は何でしたか。(〇はいくつでも)

- 1  避妊
- 2  性感染症予防
- 3  エイズ予防
- 4  その他 ( )

付問 1. その時手元にコンドームはありましたか。

- 1  あった
- 2  なかった

付問 2. コンドームを使用しなかった理由は。

(〇はいくつでも)

- 1  たまたま買い忘れたから
- 2  買うのが面倒だったから
- 3  値段が高いから
- 4  相手が嫌がったから
- 5  自分がコンドームが嫌いだから
- 6  快感が損なわれるから
- 7  雰囲気壊れるから
- 8  妊娠の心配がなかったから
- 9  他の避妊法を用いたから
- 10  興奮していて余裕がなかったから
- 11  性感染症、エイズの心配がなかったから
- 12  射精をともなわないセックスだったから
- 13  使用を言い出せなかったから
- 14  その他 ( )



\*これより先の設問には、全員お答え下さい。

■次にコンドームについておききます。

問 55. コンドームについての以下の意見をどう思いますか。

	そう 思う	そう 思わない	わから ない
1. コンドームを使うと快感が損なわれる。.....	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. コンドームを持ち歩いている人は、遊び慣れた人である。.....	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. コンドームを買うのは恥ずかしい。.....	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. コンドームは避妊に役立ち、HIV/性感染症の予防もできる。.....	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. コンドームははずれやすい。.....	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. コンドームは破れやすい。.....	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7. コンドームの使用は自分からは言い出せない。.....	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8. コンドームを使うとセックスの雰囲気は壊れる。.....	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9. コンドームを嫌がる男性は、相手のこと大切に思っていない。.....	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10. 相手がどうしても使おうと言う時以外は、コンドームは使いたくない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問 56. 下記の状況で、HIV や性感染症予防のためにコンドームを使う必要があると思いますか。

◎この場合、オーラルセックスとは男性のペニスを口や舌で刺激する性行為に限定します。

	はい	いいえ	わからない
(ア) 決まった相手との膣性交 .....	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(イ) その場限りの相手との膣性交 .....	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(ウ) 決まった相手との肛門性交 .....	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(エ) その場限りの相手との肛門性交 .....	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(オ) 決まった相手とのオーラルセックス .....	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(カ) その場限りの相手とのオーラルセックス .....	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問 57. 通常、コンドームを使用するかどうか誰が決めますか。(○はひとつ)

- 1  自分自身
- 2  相手
- 3  2人で話し合っ
- 4  コンドームは使わない
- 5  セックスの経験がないのでわからない。



■経口避妊薬(ピル)という薬についてお尋ねします。

\*『ピル』とは、ホルモン剤で、避妊や婦人科疾患の治療に用いられる薬です。現在、日本では、『ピル』の避妊目的での使用は認可(解禁)されていません。

問 58.. 『ピル』という薬を知っていましたか。

- 1  どのような薬か知っていた  
 2  名前程度は知っていた  
 3  知らなかった

問 59.. 『ピル』という薬について、あてはまるものに○をつけて下さい。

	はい	いいえ	わからない
1. 『ピル』は、避妊に役立つ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 『ピル』は、エイズの予防になる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 『ピル』は、性感染症(性病)の予防になる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 『ピル』は、排卵を抑える作用がある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. 『ピル』は、精子を殺す作用がある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. 『ピル』は、精子の侵入を防ぐ作用がある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7. 『ピル』によって、悪心/嘔吐、出血等の副作用の出る場合がある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8. 『ピル』によって、体重増加の副作用が出る場合がある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問 60.. 一般的に、経口避妊薬(ピル)の使用を、どう思いますか。また、その理由は何ですか。

- 1  賛成  
 2  どちらかという賛成  
 3  どちらかという反対  
 4  反対  
 5  わからない

- 1  避妊効果が高いから  
 2  他の避妊法に比べ簡単だから  
 3  女性自身が選べる避妊法だから  
 4  避妊法の選択肢が増えるから  
 5  性生活を楽しめるから  
 6  その他 ( )

- 1  薬の副作用が心配だから  
 2  女性だけに避妊がまかされるから  
 3  性感染症が増えるから  
 4  エイズ/ウイルス感染が増えるから  
 5  性道徳が乱れるから  
 6  その他 ( )

問 61.. 今後、日本で経口避妊薬(ピル)が認可(解禁)された場合、あなたご自身は使用したい(あるいは相手に使用してもらいたい)と思いますか。

- 1  はい  
 2  いいえ  
 3  わからない  
 4  自分には関係がない

■性的被害の経験についておうかがいします。

問 62. あなたは、これまでに性的被害を受けたことがありますか。(痴漢行為も含みます)

1  はい

2  いいえ

付問. どのようなことでしたか。(〇はいくつでも)

また、はじめて受けたのは何歳でしたか。

- 1  ひわいな言葉でからかわれた ( ) 歳
- 2  むりやりキスをされた ( ) 歳
- 3  身体(性器、胸、お尻)に触られた ( ) 歳
- 4  性器に触るように強制された ( ) 歳
- 5  膣性交を強制された ( ) 歳
- 6  オラルセックスを強制された ( ) 歳
- 7  肛門性交を強制された ( ) 歳
- 8  その他 ( ) ( ) 歳

付問. この中で大学関係者(大学の教職員、先輩、同級生、後輩)による性的被害はありますか。あった場合、相手は誰でしたか。

1  はい

2  いいえ

- 大学の教員
- 大学の職員
- 大学の先輩 (〇はいくつでも)
- 大学の同級生
- 大学の後輩
- その他 ( )

■あなたの性的指向についてお尋ねします。

問 63. あなたが、今までに性的関心を持ったことのある人の性別をあげてください。(〇は一つ)

- 1  男性にだけ性的関心がある
- 2  女性にだけ性的関心がある
- 3  男性にも女性にも性的関心がある
- 4  男性にも女性にも性的関心がない

■性に対する考え方についておうかがいします。

問 64. 次の意見についてあなたはどのように思いますか。(○はそれぞれひとつ)

	かまわない	どちらかと言え ばかまわない	どちらかと言え ばよくない	よくない	わからない
1. 男子中学生がセックスをすること。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 女子中学生セックスをすること。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 男子高校生がセックスをすること。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 女子高校生がセックスをすること。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. 未婚男性がセックスをすること。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. 未婚女性がセックスをすること。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7. 既婚男性が妻以外とセックスをすること。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8. 既婚女性が夫以外とセックスをすること。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9. 未婚男性が既婚女性とセックスすること。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10. 未婚女性が既婚男性とセックスすること。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11. 恋人がいる男性が、恋人以外とセックスをすること。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12. 恋人がいる女性が、恋人以外とセックスをすること。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13. 男性同士がセックスをすること。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14. 女性同士がセックスをすること。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15. お金をはらってセックスをすること。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
16. お金をもらってセックスをすること。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

■最後にセックスやエイズ・性感染症の情報についておまきします。

問 65. あなたは、セックスについての知識をどこ(誰)から得ましたか。(○はいくつでも)

- |  |  |                                      |
|--|--|--------------------------------------|
| 1 <input type="checkbox"/> 父                 | 7 <input type="checkbox"/> 大学の保健管理センター | 13 <input type="checkbox"/> ビデオ      |
| 2 <input type="checkbox"/> 母                 | 8 <input type="checkbox"/> 友人          | 14 <input type="checkbox"/> 雑誌、週刊誌   |
| 3 <input type="checkbox"/> 兄                 | 9 <input type="checkbox"/> 近所の知り合い     | 15 <input type="checkbox"/> マンガ、コミック |
| 4 <input type="checkbox"/> 姉                 | 10 <input type="checkbox"/> セックスの相手    | 16 <input type="checkbox"/> 専門書      |
| 5 <input type="checkbox"/> 親類の人              | 11 <input type="checkbox"/> 医師、看護婦、保健婦 | 17 <input type="checkbox"/> その他( )   |
| 6 <input type="checkbox"/> 中学,高校の<br>教師や養護教諭 | 12 <input type="checkbox"/> テレビ        | 18 <input type="checkbox"/> 特にない     |

問 66. あなたは、性感染症の知識をどこ(誰)から得ましたか。(○はいくつでも)

- |  |  |                                      |
|--|--|--------------------------------------|
| 1 <input type="checkbox"/> 父                 | 7 <input type="checkbox"/> 大学の保健管理センター | 13 <input type="checkbox"/> ビデオ      |
| 2 <input type="checkbox"/> 母                 | 8 <input type="checkbox"/> 友人          | 14 <input type="checkbox"/> 雑誌、週刊誌   |
| 3 <input type="checkbox"/> 兄                 | 9 <input type="checkbox"/> 近所の知り合い     | 15 <input type="checkbox"/> マンガ、コミック |
| 4 <input type="checkbox"/> 姉                 | 10 <input type="checkbox"/> セックスの相手    | 16 <input type="checkbox"/> 専門書      |
| 5 <input type="checkbox"/> 親類の人              | 11 <input type="checkbox"/> 医師、看護婦、保健婦 | 17 <input type="checkbox"/> その他( )   |
| 6 <input type="checkbox"/> 中学,高校の<br>教師や養護教諭 | 12 <input type="checkbox"/> テレビ        | 18 <input type="checkbox"/> 特にない     |

問 67. あなたは、エイズの知識をどこ(誰)から得ましたか。(○はいくつでも)

- |  |  |                                      |
|--|--|--------------------------------------|
| 1 <input type="checkbox"/> 父                 | 7 <input type="checkbox"/> 大学の保健管理センター | 13 <input type="checkbox"/> ビデオ      |
| 2 <input type="checkbox"/> 母                 | 8 <input type="checkbox"/> 友人          | 14 <input type="checkbox"/> 雑誌、週刊誌   |
| 3 <input type="checkbox"/> 兄                 | 9 <input type="checkbox"/> 近所の知り合い     | 15 <input type="checkbox"/> マンガ、コミック |
| 4 <input type="checkbox"/> 姉                 | 10 <input type="checkbox"/> セックスの相手    | 16 <input type="checkbox"/> 専門書      |
| 5 <input type="checkbox"/> 親類の人              | 11 <input type="checkbox"/> 医師、看護婦、保健婦 | 17 <input type="checkbox"/> その他( )   |
| 6 <input type="checkbox"/> 中学,高校の<br>教師や養護教諭 | 12 <input type="checkbox"/> テレビ        | 18 <input type="checkbox"/> 特にない     |

問 68. あなたは、これまでの学校教育の中で下記の教育を受けましたか。それぞれについてあてはまる  に○をつけて下さい。

	中学校	高校	大学	受けてない	わからない
1. 性感染症	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. エイズ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 避妊	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

---

問 69. 下記の情報のうち、どのような情報が欲しいですか。(○はいくつでも)

- 1  避妊方法
- 2  性の相談窓口
- 3  性感染症の予防方法について
- 4  世界の性感染症の流行状況
- 5  日本の性感染症の流行状況
- 6  自分の住んでいる地域の性感染症の流行状況
- 7  どこで性感染症の検査・治療ができるか。
- 8  各種性感染症の症状と合併症と治療方法
- 9  性感染症の相談窓口
- 10  世界のエイズの流行状況。
- 11  日本のエイズの流行状況。
- 12  自分の住んでいる地域のエイズの流行状況。
- 13  最新のエイズ治療法
- 14  エイズ治療にかかる医療費について
- 15  どこでエイズ検査が受けられるか。
- 16  エイズの予防方法について
- 17  エイズの相談窓口
- 18  その他 ( )
- 19  どれも興味がない

---

●以上で、質問は終わりです。この調査に対するご意見ご感想をお書き下さい。

## ★アイデア募集

●エイズや性感染症(性病)に関する情報が欲しいとき、どのような場所でどのようにして得たいですか。例えば、エイズや性感染症に関する情報を小冊子にして、24 時間営業のコンビニや本・ビデオ屋さんなどの片隅に置いておく(無料で誰でも持っていける)など具体的なアイデアを募集しています。下記の空欄にあなたのアイデアを書いて下さい。

\* 調査のご協力ありがとうございました。

## カウンセリング体制グループ総括

### カウンセリング体制の現状把握と充実に関する研究

グループ長：兒玉憲一（広島大学保健管理センター）

班 員：池上千寿子（ふれいす東京）石原美和（国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター）  
山形操六（エイズ予防財団）山中京子（東京都衛生局医療福祉部エイズ対策室）

研究協力者：生島嗣（ふれいす東京）池田和子（国立国際医療センター）磯本明彦（北里大学）

乾吉祐（専修大学）岡慎一（国立国際医療センター）笠原敏彦（同）

倉田早絵子（ふれいす東京）齊藤祐治（同）桜井賢樹（エイズ予防財団）徐淑子（広島大学）

高田知恵子（群馬社会福祉短期大学）高野操（国立国際医療センター）鶴光代（福岡教育大学）

中田潤子（国立国際医療センター）野坂祐子（お茶の水大学大学院）東優子（エイズ予防財団）

森田眞子（同）吉田茂美（ふれいす東京）松本智子（慶応義塾大学）山田治（川崎医科大学）

#### 研究要旨

（目的）本年度は、カウンセリング資源の有効な活用を促すために、利用者である感染者や医師のカウンセリングに関する意識や利用行動や評価を検討する。また、カウンセリング体制のさらなる拡充のために、コーディネーターの役割や専門カウンセラーの養成方法を検討した。

（方法）第1の目的のために、感染者や医師を対象に質問票調査や面接調査を行った。第2の目的のために、精神症状を呈した感染者や専門カウンセラーの事例研究を行った。

（結果）感染者を対象とした調査（研究1）では、いまだにカウンセリング資源へのアクセシビリティが不平等で、サポート資源のコーディネート機能の充実が課題であることがわかった。医師を対象とした調査（研究2）では、多くの医師が派遣カウンセラーを利用し高く評価している反面、カウンセリングに具体的なイメージを持ってない医師も多く、具体的な情報の提供が課題であることがわかった。精神症状を呈する感染者の事例研究（研究3）では、精神科医と感染者をつなぐコーディネーターの役割が明らかになった。専門カウンセラーの事例研究（研究4）では、「役に立つ専門カウンセラー像」が明確になった。

（考察）カウンセリング資源の有効な活用を促すために、具体的な情報提供の方法やコーディネート機能のモデルが検討された。また、各研究とも研究対象を拡大し妥当性や信頼性を高める必要があることが考察された。

#### A 研究目的

HIV感染症における予防啓発カウンセリング、検査前後カウンセリング、感染者支援カウンセリングなどの心理社会的支援は、一括して包括的HIV/AIDSカウンセリング（以下、

HIVカウンセリング）と呼ばれる。わが国では、10年余の歳月をかけて医療・保健・福祉の各領域で HIVカウンセリング体制の整備が進められてきた。とくに1996年度にスタートした「拠点病院カウンセラー設置事業」によ

る派遣カウンセラー制度の普及、さらには1997年度からブロック拠点病院へのカウンセラーの配置により、わが国の HIV カウンセリングの基盤整備が飛躍的に進んだ。現在は、一部の残された地域での基盤整備とともに、すでに整備されたカウンセリング体制の有効活用の促進やサービスの質の向上が求められる段階となっている。

本研究グループは、わが国の HIV カウンセリング体制の現状を的確に把握し、現在の問題点や今後の課題を明らかにし、学術研究及び行政施策上の提言を行うことをめざしている。本年度は、カウンセリング資源の有効活用の促進、平たく言えば「すべての HIV 感染者/AIDS患者(以下、感染者)にカウンセリング・サービスが行き届く体制づくり」を研究グループの共通テーマに掲げ、4つの研究を行った。そのうち2つの研究では、すでに整備されたカウンセリング体制の有効な活用を促すための条件を明らかにするために、サービスを利用する感染者や医師の意識、利用行動、評価を検討した。もう2つの研究では、わが国のカウンセリング体制をさらに拡充するために、精神症状を抱える感染者の支援方法や専門カウンセラーの養成方法を検討した(図1参照)。

## B. 研究方法

### 1) 調査研究法

感染者及び HIV 診療を行っている医師を対象に、心理社会的なサポート資源に対する意識や利用行動や評価について質問紙調査及び面接調査を行った(研究1、2)。

### 2) 事例研究法

精神症状を抱える感染者に対するコーディネーターの援助方法に関して、臨床的な事例研究を行った。また、臨床心理士やソーシャル・ワーカーなどの専門カウンセラーの養成方法を検討するために、カウンセラーに焦点

を当てた事例研究を行った(研究3、4)。

## C. 研究成果

本研究グループ全体を総括する視点から、平成10年度の各研究の主な成果を整理し、今後の研究課題を明らかにしたい。

**研究1：地域における直接的支援とカウンセリング体制に関する研究:HIV陽性者によるカウンセリング等への認知および評価について**  
(班員：池上千寿子)

### ①研究の概要

HIV陽性者のサポート資源のうち、カウンセラー、ソーシャルワーカー、コーディネーターナースなどフォーマルな資源としての専門職、および家族、NGO スタッフ、友人などのインフォーマルな資源としての非専門職を陽性者がどのように認知、利用、評価、期待しているかを調査した。

### ②結果の概要

(調査1) エイズNGO「ぶれいす東京」を利用したことのある陽性者74名にサポート資源に関する項目やソーシャルサポート尺度を含む質問紙を配布し、50名から回答を得た(回収率67.6%)。主な結果は、次の通り。a) 回答者の大半が専門職の存在を知っていた。ただし、自分の通う病院にいると答えた人は半数にみたなかった。専門職の存在を知るの

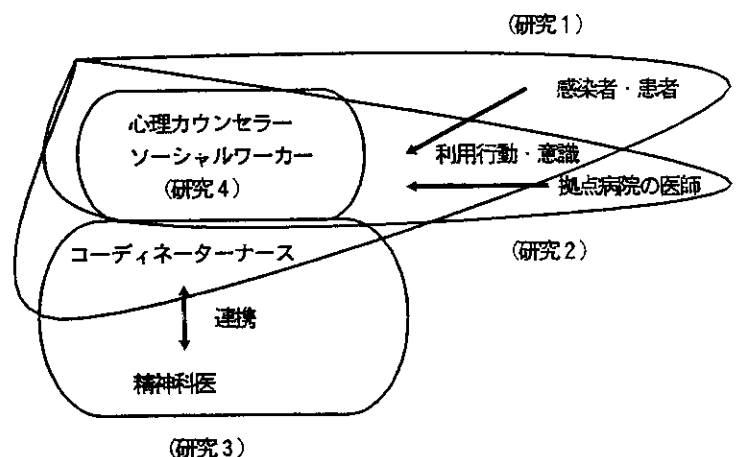


図1 4研究における研究対象の関係は主



に主治医を通してである。b)専門職への期待では、カウンセラーに情緒的サポート面での期待がとくに強く、他の専門職へは専門性や具体的な援助や情報提供について期待されていた。どの専門職にもプライバシーの保守が求められていた。c)回答者をソーシャルサポート尺度得点で低サポート群と高サポート群に分けて、二群のサポート資源の動員パターンを検討すると、次の点が明らかになった。二群ともに「ボランティア」「知り合いの陽性者」が重要な相談相手であり、高サポート群では「パートナー」「カウンセラー」など心理・対人関係面の問題を相談する相手を持ち、問題に応じたサポート資源を動員している。

(調査2) 8名の陽性者に対して半構造化された個人面接調査を行い、主な結果は次の通り。a)ソーシャルサポートネットワークについては、情緒的サポート資源がパートナーやボランティアに限られる傾向があった。b)カウンセリングは、特定の専門職の機能としては認識されていなかった。c)専門職、非専門職を問わず、相談相手には、正確な情報、プライバシーへの配慮、カウンセリングマインドが求められていた。d)「分業型」の相談システムが望ましく、サポート資源のコーディネート機能の充実が求められていた。

(調査3)「ふれいす東京」による1997年度の相談活動(電話および対面による相談474件の内容、バディによる入院先・在宅訪問182回)が分析され、その主な結果は次の通り。a)相談では、前年度に比較し「情報や知識の獲得」が減少し、「生活上の具体的な問題」が増加した。b)バディ活動では、前年度までと異なり在宅が入院を上回った。陽性者からのニーズも、「会話」などコミュニケーションへのニーズが中心であった。こうした結果から、HIV診療の進歩や支援体制の強化に伴い陽性者の支援ニーズが、「ターミナルに向けての心的支援」から「生活支援」や

「意思決定支援」に重点が移行していることなどが指摘された。

### ③考察

研究1では、次のような課題が明らかになった。a)専門職、非専門職を問わず、陽性者の抱える問題に応じて、いずれが専門あるいは得意かを明確にして相互に紹介し合えるカウンセリング・ネットワークの構築が必要である。b)現状では、陽性者の専門職へのアクセシビリティの不平等であり、専門職の適切な配置によりこの不平等を是正する必要がある。また、NGOや陽性者自助組織など非専門職による相談支援活動をなお一層強化する必要がある。c)専門職および非専門職からなるカウンセリング・ネットワークの要となるコーディネート機能の新たなモデルを探る必要がある。

## 研究2：HIV感染者・エイズ患者の心理・社会的援助に関する医師の意識とカウンセリングの利用に関する研究

(班員：山中京子)

### ①研究の概要

主治医は、患者とカウンセラーを結ぶ媒介者である。そこで、HIV診療に携わる医師のカウンセリングやカウンセラーに対する意識を明らかにし、実際にカウンセラーを導入している医師の利用行動およびカウンセラーに対する評価を明らかにし、導入していない医師のそれに代わる対処方法を明らかにする。

### ②結果の概要

関東圏の1都6県3政令市の医療機関に属しHIV診療に当たっている医師、および同圏の拠点病院に所属し今後HIV診療に当たる可能性の高い医師合計263名を対象に質問票調査を行い、158人から回答を得た(回収率60%)。主な結果は、次の通り。a)多くの医師がHIV患者のQOLの向上に心理社会的問題の解決が重要であることを認識していたが、その解決に医師が中心的役割を果たすことには

躊躇し、多職種間連携で解決することを肯定するものが多かった。b)多くの医師がカウンセリングの有用性を認識していたが、カウンセラーの活動に関する具体的なイメージが乏しかった。これは、多くの医師にとってカウンセリングに関する情報を得る機会が少ないことによると思われる。c)全体の7割の医師が心理社会的問題を抱える HIV患者の診療経験があり、そのうち7割が派遣カウンセラーを中心にカウンセラーを依頼した経験をもっていた。また、依頼したカウンセラーの活動に対して、概ね肯定的な評価をしていた。d)カウンセラーを依頼しなかった医師は、医師や看護婦による従来型の対処とともに、院内のソーシャルワーカーも活用していた。

### ③考察

研究2では、次のような課題が明らかになった。a)医師の間ではカウンセリングの有用性の認識も高く、実際に依頼したカウンセラーに対する評価も高かった。しかし、その一方でカウンセラーの具体的な利用法が分からないためにカウンセラーを依頼できない医師も少なからずいた。こうした医師に対してカウンセラー利用に関する具体的な情報を提供するために文書等の情報の流れを再検討したり、臨床医が参加しやすいように工夫した研修会を開催する必要がある。b)医師は、カウンセラーに対して生活費や人間関係など現実的な問題から、個人の心理的問題、死や生に関する実存的な問題まで多種多様な問題領域の対応を期待していることがわかった。そこで、医師に対してカウンセラー、精神科医、MSWなどの役割分担を説明して現実的な役割期待を形成していくとともに、カウンセラーを心理社会的な援助のジェネラリストとして養成していくことも検討する必要があると思われる。

**研究3：HIV/AIDS患者のメンタルヘルスにおけるコーディネーターの役割に関する研究**

(班員：石原美和)

### ①研究の概要

HIV/AIDS患者のメンタルヘルスの諸問題にコーディネーターがいかに対応するのか、あるいはコーディネーターにはどのような役割が求められているのかという問題を、とくに精神科との連携について明らかにする。

### ②結果の概要

国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター(ACC)を1998年末までに受診した感染者628例のうち、国立国際医療センター精神科へ紹介した19例(3%)を臨床的に検討した。19例をHIV感染と精神症状の関連で分類すると、a)HIV感染とは独立して精神障害が存在していた例：11例、b)HIV感染に関連して反応性に精神症状を呈した例：7例、c)エイズ脳症による器質性精神障害を呈した例：1例。事例を詳細に検討した結果、精神症状を呈する患者のケアにおいてコーディネーターの果たす役割として、患者本人を説得して精神科受診の同意を得ること、患者が定期的に受診できるように援助すること、HIV診療科と精神科等との情報交換や合意のための調整を行うこと、さらには家族等の周囲のサポート体制を形成していくことなどがあることが明らかになった。

### ③考察

将来的には、わが国でも精神障害や精神的な問題を抱えるHIV/AIDS患者の増加が予想されるため、今後ともHIV診療における精神科の協力・連携を促進していくための方策が検討される必要がある。

**研究4：HIVカウンセリング体制の構築に関する研究**

(班員：山形操六・兒玉憲一)

### ①研究の概要

HIVカウンセリングの中核的な役割を担うべき臨床心理士(CP)やソーシャルワーカー(SW)などが専門カウンセラーとして有効に機能するための条件を明らかにし、それにもと

づいて専門カウンセラーを養成するための学部及び大学院レベルでの教育カリキュラム案を検討する。

### ②結果の概要

わが国の代表的な専門カウンセラー3名を研究協議会に招き成功した事例の報告をしてもらい、カウンセラーに焦点を当てて「役に立つ専門カウンセラー像」の明確化を目的とした事例研究を行った。次に、上記の事例研究及び昨年度の実態調査を踏まえて、専門カウンセラー養成のためのカリキュラム案を研究協議会において検討した。その主な結果は次の通り。a)事例研究の結果、医療体制、理論・概念、技法の3領域で有効な専門カウンセラーの条件が明らかになった。たとえば、専門カウンセラーは、チーム医療のなかで柔軟な面接構造を維持し、感染者や社会の多様なニーズに対応するために多彩な技法を駆使し、とくにコンサルテーションや他職種との連携が得意であることがその条件である。b)このような専門カウンセラーを今後継続的に養成するには、CPやSWを養成する学部および大学院を一貫したシステムとして整備するとともに、医療保健福祉の各分野で実務経験を積んだ人々をリカレント夜間大学院で専門カウンセラーとして再教育するコースの設置も必要である。

### ③考察

専門カウンセラーのモデルは、HIV/AIDSに限らず、他の進行性慢性身体疾患を抱える患者に対するケアにも有効なモデル、あるいはわが国の医療保健福祉における高度に専門的なカウンセラーのモデルとなりうると思われる。このような認識のもとに、長期的な視野でさらに有効な教育システムを検討していく必要がある。

## D. 結論

最後に、各研究プロジェクトの今後の研究上の課題を掲げて結びとしたい。

研究1では、研究結果にさらに信頼性や妥当性を高めるには、他の地域での多様な対象者に関する同様の研究を行い、その結果との比較検討を行う必要がある。

研究2では、次の課題として直接的利用者である患者等を対象にカウンセリングに関する意識や評価を調査し、今回の調査結果と比較検討することが期待される。

研究3では、他のHIV診療機関との共同研究を通してもっと多くの症例を収集し、さらに広い視野でコーディネーターのカウンセリングにおける役割を検討する必要がある。また、感染者に対する精神科医によるリエゾン・コンサルテーションに関する臨床的疫学的研究が期待される。

研究4では、今回呈示したカリキュラム案を実現していくために関係学会・団体とともに検討を重ねていく必要がある。それとともに、学部や大学院以外での、たとえば学会や職能団体における専門カウンセラーの養成方法に関する研究も試みる必要がある。

## E. 研究発表

### 学会発表

兒玉憲一(1998): HIVカウンセラーからみた献血時間診への助言. 第46回日本血液学会総会, 京都市.

兒玉憲一(1998): HIVカウンセリングにおける臨床心理士とピア・カウンセラーの連携の意義. 第12回日本エイズ学会総会, 東京都.

松本智子・山中京子(1998): 「HIVカウンセリング」の概念に一考察. 第12回日本エイズ学会総会, 東京都.

山中京子・松本智子(1998): HIVカウンセリングのための院内の連携方法に関する検討. 第12回日本エイズ学会総会, 東京都.

### 論文発表

池上千寿子(1998): 保健所, 医療機関での告

- 知の問題点. 公衆衛生, 62(6), 414-417.
- 石原美和(1999): エイズ患者とその家族の抱える問題. 臨床看護職, 25, 533-537.
- 兒玉憲一(1998): AIDS. 黒沢尚・山脇成人編「臨床精神医学講座17リエゾン精神医学・精神科救急医療」中山書店, 140-146頁.
- 兒玉憲一(1998): HIV/AIDSカウンセリングの実際. 臨床成人病, 28(8), 981-985頁.
- 兒玉憲一・一円禎紀(1998): AIDS患者. 山脇成人編「精神科ケースライブラリーⅧコンサルテーション・リエゾン精神医学」中山書店, 325-334頁.
- 山田治(1998): HIV感染症におけるゲシュタルト療法の活用. 現代のエスプリ, 375, 83-91.